

## 湖国エネルギー創造住宅設計監理業務プロポーザル選定審査委員会による審査結果について

### 1. 選定審査委員会委員

区分	氏名	役職等	区分
委員長	松岡 拓公雄	滋賀県立大学環境科学部教授	学識経験者
委員	伊丹 清	滋賀県立大学環境科学部講師	学識経験者
委員	清家 剛	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授	全国審査委員 (環境省から派遣)
委員	上山 哲夫	近江八幡市副市長	行政
委員	田中 栄祐	近江八幡市協働政策部長	行政

### 2. 審査の経緯

平成21年7月22日：公募開始

平成21年8月12日：技術提案書等の提出期限（5者から提出）

平成21年8月20日：選定審査委員会（ヒアリング実施、最優秀者・次点者の決定）

### 3. 審査の結果

最優秀者：株式会社 片淵建築事務所

次点者：石井建築設計事務所

### 4. 講評

#### ○最優秀者：

近江八幡独自の気候風土を原点とした自然の力の活用が、配置や平面計画、断面計画に明確に示されている。

特に琵琶湖が影響している卓越風や太陽の熱と光の果たす役割が土間や庇のある吹き抜け空間と見てとれる。

南東に配置された開口部の可変性を持つ「近江東屋」は菜園と庭との連続性を明快にし、南面の土間と連結して生活の豊かさや近隣とのコミュニケーションを生み出すことが予想される。

構造的にも環境性能が配慮され、普遍的な近江の住宅のプロトタイプとして評価できる。

#### ○次点者：

天井の高い土間空間とL字形配置、平屋、揚水風力の利用による地下水の循環利用などに特徴がある。

また、敷地分析法や近江八幡の特性を考慮した9項目の提案の内容は質が高い。

提案の完成度が高く、難点はその反面、緑地と建築のバランス、風と水の利用に対応した開口部の配置と室内空間への配慮がやや不足しており、実現性に向けて更なる工夫の余地を残しているため総合的な観点から極めて僅少な差で次点となった。